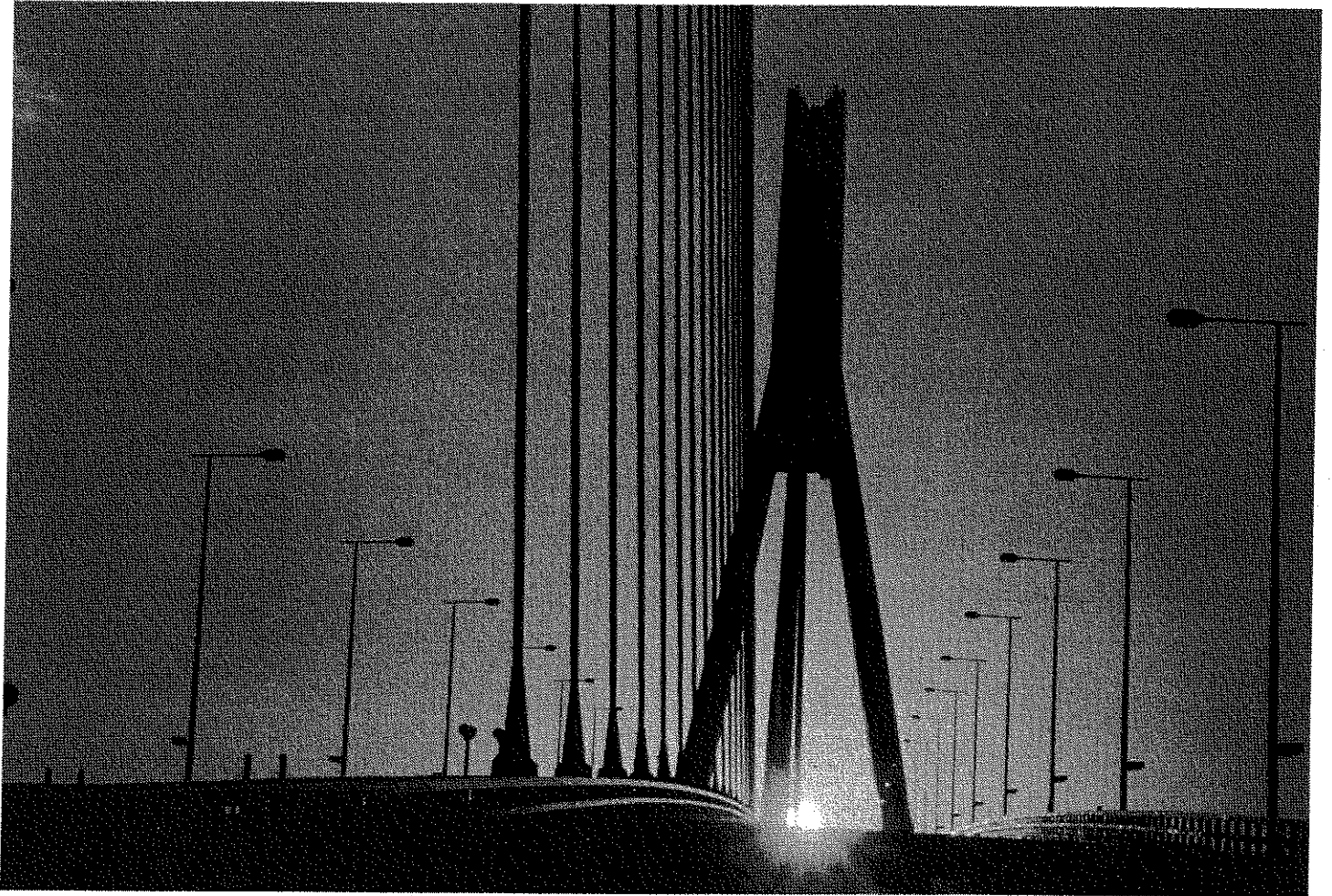


高速道路課

30周年



8.4.12
近 水川丸

~120
車速

はじめに

昭和40年に高速道路課が「高速道路網建設準備室」として発足以来、またたく間に30年が過ぎました。ここに皆様とともに無事30周年を迎えることができましたことを、心より喜ばしく思います。この間、102.1kmの高速道路が供用し、市民生活の向上や産業活動の活性化、バランスのとれた市域の発展に大きな貢献を果たしてきています。これも皆様のご努力の賜物と思います。

さて、25周年から30周年の5年間には、みなとみらいランプ、石川町ランプ、鶴見つばさ橋を含む高速湾岸線4期、第三京浜道路都筑インターチェンジ、横浜新道藤塚インターチェンジの開通等がありました。さらに、横浜環状道路南側区間の都市計画が決定され、事業着手ができました。なかでも、高速湾岸線4期の開通により、首都高速横羽線の交通渋滞が緩和されるとともに、横浜から東京方面への所要時間が大幅に短縮されるなどの整備効果が明らかとなったことについて、新聞紙上をにぎわせたことを皆様方もよくご存じと思います。

ところで、横浜市は、2010年を目標年次とした新しい総合計画「ゆめはま2010プラン」を策定し、推進しているところです。

この中で、快適で便利な交通網の実現を目指す「快・速・安・信ネットワークプラン」がリーディングプラン（先導的な事業）の一つに位置づけられており、高速道路の整備は、都心まで30分の交通体系や全国各地、首都圏の主要都市や空港を結ぶ交通体系を図る上で大変重要な施策になっています。

また、高速道路は、交通利便性の向上、市域の一体化を高めるほか、一般道路の混雑緩和、生活道路の機能回復を図る効果をもたらすなど、ゆとりある市民生活を実現し、都市活動を支える上で重要な役割を担っています。

このように、高速道路課に与えられた役割は、ますます大きなものとなってくるとおもいます。これまでも高速道路課が一致団結して建設にあたってきたように、全課をあげて諸課題に挑戦してもらいたいと願います。

21世紀の社会にあっても安心して暮らせるまちづくりのために・・・

道路局長 杉浦 治雄

【昭和40年】

高速道路網建設準備室

総務局
 副主幹 (兼) 技術吏員 池 沢 利 明
 主 査 同 立 神 孝
 事務吏員 沼 田 英 一
 技術吏員 藤 本 孝 昭
 同 田 中 茂 広
 技術員 堀 邦 明

年度	年月日	主 な 都 市 計 画 及 び 事 業
31	31. 4. 16	日本道路公団設立 横浜新道戸塚支線(通称ハマ道路, 32. 2. 1供用)日本道路公団へ引継
	32. 1. 15	横浜新道工事開始
32	32. 12. 17	峰岡・上矢部線(横浜新道)都市計画決定, L=8.7Km, b=15m
34	34. 6. 17	首都高速道路公団設立
	34. 10. 28	横浜新道供用
35	35. 12. 10	有料道路第三京浜道路(県道東京野川横浜線)の新設同意
	36. 3. 30	東京野川横浜線路線認定
36	37. 1. 27	有料道路第三京浜道路工事開始
37	37. 5. 30	東名自動車道路(東京~静岡 161.8Km)整備計画・施工命令
39	39. 6. 15	横浜羽田線都市計画決定 L=6.5Km, b=16.5m (神奈川区神奈川通5丁目~鶴見区朝日町1丁目)
	39. 12. 16	横浜新道戸塚支線無料開放
	40. 2. 20	横浜羽田線都市計画変更 首都高速道路公団と関連街路築造の委託に関する基本協定締結
40	40. 4. 1	横浜市高速道路網建設準備室として発足
	40. 12. 19	第三京浜道路全線供用開始

～当時の思いで～田中 茂廣(現所属:建築局開発担当理事)

全国の県市で唯一高速道路課を持ち、その存続が局の幾多の組織変えがあったにもかかわらず30年間も続いたことは、本当にうれしいことです。

さて、私に当課発足当時の事を書けとのことですが、課全体の事をつかんでいないので、全体を書くのは難しい。そこで私の知っていることを書かせて頂きます。

昭和40年4月高速道路網建設準備室として池澤課長(当時副主幹)をチーフに立神係長のほか4名で発足、私は港北土木事務所(分区前)からの異動で当室に来ましたが、高速道路の線形基準など基礎的なことを知らず、転動してからは立神さんや公団に聞いたり、資料をもらったりして夜遅くまで藤本さんや堀さんと議論しながら線形の勉強をしたものでした。また、事務担当の沼田さんは、道路公社の設立についての検討を云われ、地方道路公社の事例や条例を調べ、相当分厚い令規集を作って課長以下、真剣に議論していたが……

ところで高速道路の検討では、横羽Ⅱ期をどう伸ばすか、市の中心部(関内、外の通過)をどうするかなど、いろいろ勉強しながら自分たちで線形を入れて議論をした。その中では派大岡川(現在地下化部)から大岡川、中村川の上空を通る一方通行案や、関内駅横をインターにして新吉田川(大通公園)を通る案なども検討したが、事務当局の努力も空しく派大岡川は地下化されてしまった。こう書くと非常に真面目に仕事のみしていた様に見えるが、結構アフター5も盛んで、5時を過ぎると皆さん打揃って一応5名ですが、チンチロチン(当時は五拾円や百円を入れると、お酒が出るボックスがあった)の店へ出掛け、先ずここで一杯と下拵えをして、次は桜木町のバーへと繰込み、有線放送を聞きながら一曲歌うなど、今とたいして変わらない生活であったと、つくづくこの30年間を考えさせられる。もう30年も前の話になるので多少の思い違いもあるかもしれませんが、御容赦を願います。

～当時の思いで～池澤 利明〔 勲横浜市埠頭公社理事長
勲横浜市シルバー人材センター理事長〕

「高架から地下に」ではなく、「地下から高架に、そして再び地下に」なのである。これは、横羽線（Ⅱ期）と、2号線（狩場線）が横浜市中心部を通過するに際しての、計画の経緯のことである。

当時、建設省都市局渡辺与四郎専門官、首都高速道路公団高橋力計画部長をはじめとする私共担当者間で、派大岡川・吉田川を埋立て、この土地を利用して地下方式で高速道路を通すべく検討が進められていた。

一方、市営地下鉄3号線は派大岡川・吉田川を利用する計画で、又吉田川は大通り公園としての計画が進められており、三者が意合するところとなった。

そこで横浜市では調整をして、横羽線は高架方式で都市計画決定をしたのである。しかし、その直後地元より高架方式に対し異論が出され、再び地下方式に計画を変更することにしたのである。案の定、「地下をやめて高架でよろしい」として決定をしておきながら、「すぐに地下に変更するという事」について、各方面からいろいろな意見が出されるところとなった。至極当然のことである。

お蔭様で、私共は「異常なまでの苦勞」をした思い出がある。しかし、「いいものはいいのである」横羽線は、当初の私共の考え通り、地下方式で横浜市中心部を通すことが出来たのであるから。

主 な 都 市 計 画 及 び 事 業

No. 1

年度	年月日	主 な 都 市 計 画 及 び 事 業
3 1	31. 4. 16	日本道路公団設立 横浜新道戸塚支線(通称ソノ道路, 32. 2. 1供用)日本道路公団へ引継
	32. 1. 15	横浜新道工事開始
3 2	32. 12. 17	峰岡・上矢部線(横浜新道)都市計画決定, L=8.7Km, b=15m
3 4	34. 6. 17	首都高速道路公団設立
	34. 10. 28	横浜新道供用
3 5	35. 12. 10	有料道路第三京浜道路(県道東京野川横浜線)の新設同意
	36. 3. 30	東京野川横浜線路線認定
3 6	37. 1. 27	有料道路第三京浜道路工事開始
3 7	37. 5. 30	東名自動車道路(東京~静岡 161.8Km)整備計画・施工命令
3 9	39. 6. 15	横浜羽田線都市計画決定 L=6.5Km, b=16.5m (神奈川区神奈川通5丁目~鶴見区朝日町1丁目)
	39. 12. 16	横浜新道戸塚支線無料開放
	40. 2. 20	横浜羽田線都市計画変更 首都高速道路公団と関連街路築造の委託に関する基本協定締結
4 0	40. 4. 1	横浜市高速道路網建設準備室として発足
	40. 12. 19	第三京浜道路全線供用開始
4 1	41. 12. 15	三ッ沢線都市計画決定 L=2.6Km, b=16.5Km (西区高島町~神奈川区三ッ沢西町) 横浜羽田線都市計画変更 L=8.56Km, b=16.5Km (西区高島通1丁目~鶴見区朝日町1丁目)
4 2	42. 7. 5	準備室を高速道路室に変更, 市内高速道路網の所管とする
	42. 12. 22	横羽線Ⅱ期(高島町~東神奈川)事業決定
	43. 2. 28	横浜羽田線都市計画変更 L=12.72Km, b=16.5Km (中区新山下町1丁目~鶴見区朝日町1丁目)
4 3	43. 4. 5	土木局から道路局に分かれるのに伴い『高速道路課』と名称変更
	43. 4. 25	東名自動車道路(東京~厚木 35Km) 開通 横羽線Ⅱ期関連街路(国道1号) 着工
	43. 7. 5	第三京浜道路と横浜新道が接続 産業道路立体交差(小野町立体) 着工
	43. 7. 19	横羽線Ⅰ期(~東神奈川) 完成
	43. 9. 20	高速横浜羽田空港線工事開始 (西区高島2丁目~神奈川区神奈川通5丁目)
	43. 10. 2	高島町立体交差計画決定
	43. 12. 28	横浜羽田線都市計画決定
	43. 12. 30	新子安立体交差完成
	44. 3. 27	横浜羽田線都市計画変更(高島出入口の変更) 三ッ沢線都市計画変更 (北軽井沢隧道施工と勸行寺墓地問題で一部ダブルデッキに変更) 三ッ沢事業認可

年度	年月日	主な都市計画及び事業
44	44. 5. 20	金沢・港北線(16号バイパス, 南横浜バイパス)都市計画決定 L=20.05Km, b=40m (金沢区朝比奈町～港北区長津田町)
		横浜羽田線都市計画変更(構造, 線形の変更)
	44. 7. 15	都市高速道路花見台線 L=4.9Km, b=18m の建築確認指導開始 (南区高根町3丁目～保土ヶ谷区狩場町)
	44. 8. 14	横浜市道高速1号線工事開始 (西区高島2丁目～神奈川区三ッ沢西町)
	45. 2. 6	横浜羽田線都市計画変更(高島出入口の方向変更)
		三ッ沢線都市計画変更(横羽線, 第三京浜道路との接続部変更)
45. 3. 27	派大岡川等埋立免許取得	
45. 3. 28	三ッ沢線都市計画事業公告	
45	45. 5. 11	南横浜バイパス事業許可
	45. 5. 26	東名自動車道路 346.7km 全通
	45. 5. 29	南横浜バイパス工事開始
	45. 11. 2	中央線都市計画決定 L=6.63Km, b=18m (中区元町3丁目～保土ヶ谷区狩場町)
		横浜羽田線都市計画変更(中央線との接続部変更)
	45. 11. 14	区画街路1号線都市計画決定 L=170m, b=6.5m (中区寿町1丁目2番～中区寿町1丁目1番2号)
		区画街路2号線都市計画決定 L=110m, b=6.5m (南区南太田町1丁目39番地～南区花之木1丁目9番地)
	45. 12. 11	派大岡川道路築造に関し首都高速道路公団と基本協定締結
	46. 3. 19	高速横浜羽田空港線二期工事開始 (中区扇町1丁目～西区高島通2丁目)
46. 3. 26	金沢・港北線(南横浜バイパスII期分)都市計画決定L=27.49m, b=40m (金沢区六浦町～緑区長津田町)	
46	46. 4. 1	関連街路派大岡川道路事業に着手
	46. 11. 8	三ッ沢線工事開始
	47. 1. 21	高速横浜羽田空港線工事開始 (中区新山下町～神奈川区神奈川通5丁目)
		47. 3. 10
47	47. 4. 1	吉田川道路事業富士見川より着手
	47. 4. 21	中央線都市計画変更(線形, 橋脚基礎区域の変更)
	47. 6. 30	中央線事業認可
	47. 7. 20	中央線都市計画事業公告
	47. 8. 7	高速横浜羽田空港線(子安出路 L=190m, 出路L=225m) 供用 高速横浜羽田空港線二期 L=1.7Km 供用 (西区高島2丁目～神奈川区神奈川通5丁目)
		横浜高速1号線 L=0.5Km 供用 (西区高島2丁目～西区北幸2丁目)

年度	年月日	主な都市計画及び事業
47	47. 11. 21	区画街路2号及び3号の事業に着手
	48. 1. 10	高島立体用地事務委託開始
	48. 2. 2	関連街路湾岸線都市計画決定 L=1.46Km, b=45m (中区山下町～中区新山下3丁目)
		横浜羽田空港線都市計画変更 L=13.9Km, b=17m (中区新山下3丁目～鶴見区朝日町1丁目)
	48. 2. 9	国道1号線(横浜駅東口駅前広場～地表) (横浜駅東口第二駅前広場～地下1階)都市計画変更
48. 3. 27	三ッ沢線の工期延伸変更が承認される	
48	48. 4. 17	新保土ヶ谷インターチェンジ供用開始
		保土ヶ谷区バイパス開通(本村～横新まで)
	48. 10. 5	区画街路1号線都市計画変更(線形の変更)
	48. 10. 30	横浜駅東口駅前広場都市計画事業認可
	48. 11. 13	関連街路湾岸線, 堀川道路事業認可
	48. 12. 22	横浜駅東口駅前広場, 横浜駅東口開発公社と基本協定の締結
	48. 12. 25	中央線都市計画変更(接続部, ピア, 出入口部分の変更)
	49. 1. 14	区画街路1号の事業着手
	49. 1. 31	派大岡川第2の2工区, 第2の4工区埋立竣功認可
	49. 2. 5	横浜新道中央部分分離帯設置工事完了
49. 3. 5	新山下地先の公有水面埋立免許取得	
	湾岸線新山下埋立開始	
49	49. 4. 19	横浜羽田空港線都市計画変更(中区桜木町1丁目に換気所を設置)
	49. 6. 5	横羽線Ⅱ期, 中央線事業変更承認
	49. 7. 6	横浜羽田空港線都市計画事業公告
		中央線都市計画事業公告
	49. 9. 25	保土ヶ谷バイパス開通(全線)
	49. 11. 11	横浜羽田空港線都市計画事業公告
50. 3. 17	三ッ沢線事業変更承認(工期延伸)	
50	50. 9	横浜新道中央分離帯, 車道幅員拡幅(3.25m→3.5m)完了
	50. 12	関内駅北口駅舎改良着手
51	51. 3	高島立体用地事務終了
	51. 4. 14	県道高速横浜羽田空港線二期工事開始 (中区新山下3丁目～中区山下町)
		国道16号横断地下道, 羽衣町街路横断地下道, マリナード工事開始
	51. 11. 15	「横浜駅東口駅前広場整備の基本事項に関する協定書」を日本国有鉄道と締結
52	52. 7. 14	湾岸線新山下埋立竣功
	52. 8. 19	高速湾岸線都市計画決定 L=10.5Km, b=28m (鶴見区扇島～中区千鳥町)
		高速大黒線都市計画決定 L=4.22Km, b=18m (鶴見区大黒町～鶴見区生麦二丁目)

年度	年月日	主な都市計画及び事業
5 2	52. 8. 19	横浜羽田空港線都市計画変更 L=14.8Km, b=17m (中区本牧ふ頭～鶴見区朝日町1丁目)
		関連街路湾岸線都市計画変更 L=2.43Km, b=45m (中区山下町～中区本牧十二天)
	52. 10. 29	中央地下街(マリナード)オープン
	52. 12. 20	派大岡川道路開通
	52. 12. 23	国道16号羽衣町横断地下道オープン
	53. 2. 24	横浜羽田空港線都市計画変更(花園橋ランプ)
	53. 3. 7	横羽線二期供用開始 L=4Km (中区扇町1丁目～西区高島2丁目)
		三ッ沢線供用開始 L=1.8Km (西区北幸2丁目～神奈川区三ッ沢西町) 第三京浜道路と首都高速道路三ッ沢線が接続
53. 3. 17	横浜駅東口駅前広場都市計画事業変更認可 湾岸線新山下橋下部工に着手	
5 3	53. 12. 23	関内駅北口広場完成
	54. 3	関内駅北口駅舎改良工事完成
5 4	54. 4. 1	横浜駅東口駅前広場「基本協定の一部を変更する協定」を横浜駅東口開発公社締結
	54. 6. 12	横浜市道高速湾岸線(ベイブリッジ)首都公団に基本計画の指示
	54. 9. 18	横浜市道高速湾岸線(ベイブリッジ)工事実施計画
	54. 12. 4	横浜駅東口駅前広場都市計画変更(出島連絡道路の新設)
	54. 12. 6	横浜横須賀道路(日野～朝比奈 L=5.8Km)開通
	55. 1	吉浜橋落橋→新吉浜橋への付け替え
	55. 2. 1	南横浜バイパスを横浜横須賀道路に名称変更
	55. 2. 15	横浜羽田空港線都市計画変更(花園橋に換気所, 線形の変更) (中区本牧ふ頭～鶴見区寛政町)
中央線都市計画変更 L=6.87Km, b=18m		
5 5	55. 3. 26	紅葉橋(桜川新道)架替工事開始
	55. 5. 22	横浜市道高速湾岸線事業認可
	55. 6. 11	三ッ沢ジャンクション事業許可
	55. 6. 23	三ッ沢ジャンクション用地事務委託開始
	55. 6. 23	三ッ沢ジャンクション工事開始 1.3Km
	55. 9. 11	市道高速2号線清水ヶ丘代替地造成竣功
	55. 10. 31	横浜駅東口駅前広場都市計画事業認可変更
	55. 11. 27	横浜ベイブリッジ起工式(大黒ふ頭)
	56. 2. 27	中央線都市計画変更(環境施設帯の追加)
	56. 3. 31	横浜横須賀道路(狩場～日野 L=7.7Km)開通
5 6	56. 9. 2	中央線事業計画変更(環境施設帯の都市計画変更による)
	56. 11. 20	横浜駅東口駅前広場, 横浜駅東口第二駅前広場完成
	57. 1	東名高速道路港北パーキング(下り線)改良工事完了